

令和3年10月8日～11月9日（前期～10月23日(土)まで 後期10月24日(日)から）

敦賀市立博物館

# 俳諧・俳句資料と川上季石コレクション展 展示資料目録

※会期中展示替えを行います。

No.	資料名・数量	作者等	時代	西暦	形状	数量	所蔵	期間	備考
I 『おくのほそ道』と敦賀～蕉翁宿資料～									
1	松尾芭蕉色ヶ浜遊記	洞哉筆	元禄2年	1689	軸装	一幅	本隆寺※	全	市指定文化財
2	氣比神宮勸化帖	—	宝永4年	1707	筆写本	2冊	氣比神宮※	全	
3	【複製】 荊口句帖	—	原本 江戸時代		筆写本	一冊	原本 大垣市立図書館	全	
4	竹杖(松尾芭蕉所用)	—	江戸時代	—	竹製	一点	当館蔵	全	市指定文化財
5	蕉翁宿額【蕉翁宿資料】	—	江戸時代	—	木製扁額	一点	当館蔵	全	市指定文化財
6	蕉翁宿句帖【蕉翁宿資料】	琴路・波丈 外	天明6年	1786	冊子	一冊	当館蔵	全	市指定文化財
7	蕉翁宿屏風【蕉翁宿資料】	諸家	江戸時代	—	六曲小屏風	一隻	当館蔵	全	市指定文化財
8	芭蕉翁肖像画【蕉翁宿資料】	榎亭画菊二賛	江戸時代	—	軸装	一幅	当館蔵	全	市指定文化財
II 川上季石コレクション(1) 松尾芭蕉及び俳諧関係資料									
9	『奥の細道』元禄七年初夏素龍書写奥書 附筆細道伝来記(宝暦己卯中秋三四坊一楽記)	松尾芭蕉/柏木素龍	原本 元禄7年	1694	舛型・筆写本	一冊	個人※	全	重要文化財【複製】
10	芭蕉短冊「なみだしくや 遊行のもてる砂の露」	芭蕉筆・琴路画賛	元禄2年	1689	軸装	一幅	個人※	全	
11	芭蕉銅像 一軀	富永直樹作	昭和56年	1981	ブロンズ像	一軀	個人※	全	
12	和歌・俳諧貼り混ぜ屏風	日能・西鶴外	江戸時代	—	六曲小屏風	一双	個人※	全	
13	日能短冊	日能	江戸時代	—	軸双	一幅	個人※	全	
14	版本数種(花供養・芳新集)	—	江戸～明治	—	版本		個人※	全	
III 敦賀の俳諧文化									
15	『正章千句』	安原貞室	慶安元年	1648	版本	二冊	当館蔵	前	
16	『蠅打』	犬井(乾)貞恕	寛文4年	1664	版本	五冊	当館蔵	後	
17	『わが影』 一冊	東吾・東宇・琵琶船撰	享保20年	1735	版本	一冊	当館蔵	前	
18	いろの浜図	三四坊筆	江戸時代	—	軸装	一幅	本隆寺※	前	
19	『白鳥集』	琴路編	宝暦11年	1761	版本	一冊	当館蔵	後	市指定文化財
20	芭蕉波丈記【蕉翁宿資料】	波丈筆	安永8年	1779	卷子	一卷	当館蔵	全	市指定文化財
21	曾良の記	波丈筆	江戸時代	—	軸装	一幅	当館蔵	全	
22	芭蕉涅槃図	金石筆	江戸時代	—	軸装	一幅	当館蔵	後	
IV 川上季石コレクション(2) 現代俳人との交流									
23	煤掃て寐た夜は女房めつらしや	宝井其角筆	江戸時代	—	軸装	一幅	個人※	後	
24	秋入をほめて休ますかかし哉/案山子図	許六画賛	江戸時代	—	軸装	一幅	個人※	前	
25	昼寝さめて尻に夕日の暑さかな /団扇と人物図	内藤鳴雪	近代	—	軸装	一幅	個人※	全	

26	菊の種に虫をとっておる	河東碧梧桐	近代	—	軸装	一幅	個人※	全	
27	大雨ふる山辺の瀧や殿作る	河東碧梧桐	近代	—	軸装	一幅	個人※	全	
28	雨漏りに騒げる儒や雷すずし	高浜虚子	現代	—	軸装	一幅	個人※	全	
29	遠山に日のあたりたる枯野哉	高浜虚子	現代	—	軸装	一幅	個人※	全	
30	桜かさして月にたたやう	萩原井泉水	現代	—	軸装	一幅	個人※	全	
31	大年の海の静けさ……	嶋田青峰	近代	—	軸装	一幅	個人※	後	
32	冬風の葱の畑に隣り住む	嶋田青峰	近代	—	軸装	一幅	個人※	前	
33	ふるさとの海の音忍び古裕	嶋田青峰	近代	—	軸装	一幅	個人※	前	
34	よきものと久しくも据えてゆずひとつ	塩谷鶴平	近代	—	軸装	一幅	個人※	後	
35	ろうたけし人のあくびも春の夜や・行灯 図	川村曼舟	近代	—	軸装	一幅	個人※	後	
36	月かけの闇うらめしや霞けり / 生花図	巖谷小波	近代	—	軸装	一幅	個人※	前	
37	残月にせまりてたかし山の稲架	水原秋桜子	現代	—	短冊額装	一額	個人※	全	川上病院開業 40周年記念品
38	早乙女の夜の水仕のひそやかに	高野素十	現代	—	軸装	一幅	個人※	全	
39	天の川鷹は飼われて唾りをり	加藤楸邨	現代	—	額装	一額	個人※	全	
40	蓐食ぶ患者寝の医師措いて	石塚友二	現代	—	軸装	一幅	個人※	全	
41	朝顔の紺のかなたの月日かな	石田波郷	現代	—	軸装	一幅	個人※	前	
42	かりがねの束の間に蕎麦刈られけり	石田波郷	現代	—	軸装	一幅	個人※	後	
43	北端の岬囀りのひつかかり	岸田稚魚	現代	—	軸装	一幅	個人※	全	
44	雨蛙森の狛犬ねむりおり	川上季石筆	現代	—	軸装	一幅	個人※	全	
45	句帳(句会記録)	—	近代	—	筆写本	17冊	個人※	全	
46	室菊堂印譜	室菊堂	明治時代	—	折本	一冊	個人※	全	
47	室菊堂俳句(翁忌)短冊	室菊堂	明治時代	—	額装	一額	個人※	全	
48	東しの決やこころからなる波はつみ	福田松涛	近代	—	軸装	一幅	個人※	全	
49	舟虫の走りゐる帆をあげにけり	宮川史斗	現代	—	色紙	1枚	個人※	全	
50	あおかきりのなたべて寝る十三夜	福島小蕾	現代	—	短冊	1枚	個人※	全	
51	向日葵の空かがやけり波の群	水原秋桜子	現代	—	短冊	1枚	個人※	全	
52	伸び強き餅冬山に囲まれて	沢木欣一	現代	—	短冊	1枚	個人※	全	
53	鯖の荷に掛け海女瞳に鯖浦線	鍵和田柚子	現代	—	短冊	1枚	個人※	前	
54	鱗雲妻くちつさみても音痴	鍵和田柚子	現代	—	短冊	1枚	個人※	後	
55	樹といれば少女ざわざわ繁茂せり	金子兜太	昭和47年	—	色紙	1枚	個人※	前	
56	よく眠る夢の枯野が青むまで	金子兜太	現代	—	色紙	1枚	個人※	後	
57	秋の暮洩瓶泉のこゑをなす	石田波郷	現代	—	短冊	1枚	個人※	前	
58	冬日の妻よ吾に肋骨なき後も	石田波郷	現代	—	短冊	1枚	個人※	前	

59	暫く聴けり猫が転ばす胡桃の音	石田波郷	現代	—	短冊	1枚	個人※	後	
60	實梅累々国手季石に寸暇なし	石塚友二	現代	—	色紙	1枚	個人※	前	
61	雨降るや冬木の中の翌檜	石塚友二	現代	—	短冊	1枚	個人※	後	
62	松風やしくれのいろに種の浜	岸田稚魚	現代	—	色紙	1枚	個人※	前	
63	囀のいつとき明し女松原	岸田稚魚	現代	—	短冊	1枚	個人※	後	
64	黒南風や昼を灯す常之宮	岸田稚魚	現代	—	短冊	1枚	個人※	後	
65	揚雲雀心屈して松の中	岸田稚魚	現代	—	短冊	1枚	個人※	後	
66	石榴花の雨と覚えし別れかな	岸田稚魚	現代	—	短冊	1枚	個人※	前	
67	芋の露十歩をゆかず芋のつゆ	石川桂郎	現代	—	短冊	1枚	個人※	前	
68	酔眼を瞠きみひらき枯葎	石川桂郎	現代	—	短冊	1枚	個人※	後	
69	元旦や波郷友二を悼みをり	星野麥丘人	現代	—	色紙	1枚	個人※	後	
70	浮玉や海描や越前岬春	星野麥丘人	現代	—	色紙	1枚	個人※	前	
71	夕風に提灯花やや睡し	星野麥丘人	現代	—	色紙	1枚	個人※	後	
72	雪明りして渡岸寺観音像	星野麥丘人	現代	—	色紙	1枚	個人※	前	
73	松原に童多しも水温む	外川飼虎	現代	—	短冊	1枚	個人※	後	
74	隠れなき波郷の文字春寒し	外川飼虎	現代	—	短冊	1枚	個人※	前	
75	落日に仰ぎて合歓の残り花	外川飼虎	現代	—	短冊	1枚	個人※	前	
76	越の国の春や曇るる闇深し	外川飼虎	現代	—	短冊	1枚	個人※	後	
77	寒泳のかたまり泳ぐ日の真下	細川加賀	現代	—	短冊	1枚	個人※	全	
78	吾にも来る唾の子どもちの雪つぶて	細川加賀	現代	—	短冊	1枚	個人※	全	
79	山眠るまばゆき鳥を放ちては	山田みづえ	現代	—	短冊	1枚	個人※	全	
80	改元の冬あたたかし雀らも	川上季石	現代	—	色紙	1枚	個人※	前	
81	花菖蒲素顔うつればあおみどろ	川上季石	現代	—	短冊	1枚	個人※	後	
82	古文字(馬・羊・戌・亥)	千葉半厓	現代	—	色紙	1枚	個人※	全	
83	茄子の花は千に一つのあだ花もなし	足立全康	現代	—	色紙	4枚	個人※	全	
84	筆を洗う容器を借してと言ったら	桂司	現代	—	色紙	1枚	個人※	全	
85	貝に手を囁まれて絵師や神無月	川上季石/桂司	現代	—	色紙	1枚	個人※	全	
86	貝つれて旅の絵師まね秋灯下	川上季石/桂司	現代	—	色紙	1枚	個人※	全	

※当館寄託資料

### [敦賀市立博物館 令和3年特集展示]

俳諧・俳句資料と川上季石コレクション展

会期 令和3年10月8日～11月9日 (前期～10月23日(土)まで 後期10月24日(日)から)